

パンの需要を予測、廃棄ロスを減らす 自動発注予測サービス

インテックはリンクと共同で、パンの需給予測サービスを4月より開始しました。スーパーマーケットなどの小売店にとって、賞味期限が短く、毎日メーカーから入荷する必要のあるパンは、廃棄や値引きによるロスが大きい商品の一つです。そのため、発注精度を向上させることが小売店の収益改善には欠かせません。

本サービスは、リンクの小売店発注予測パッケージ「SINOPS-R」をインテックが提供する広域仮想クラウドサービス「EINS WAVE」上で稼働させ、小売店向けにクラウドサービスとして提供します。小売店を統括する本部では、日々のPOS売上実績やパン入荷時間など、予測に必要なデータをインターネット経由で入力し、分析結果をWebで確認、発注に役立てます。

お問い合わせ先▶ 株式会社インテック 流通ビジネス室 TEL: 03-5665-5053

リンクは需給予測システムを開発し、流通業にとって常に課題となっている「在庫の最適化」の実現に取り組んでいます。インテックは食の安心を確保するためのトレーサビリティシステムi-TRe(アイトレ)の提供をはじめ、サプライチェーン全体の課題解決や効率化に取り組んでいます。

将来的には、利用する小売業が増えパンの発注予測精度が高くなった段階で、パンメーカーともデータを共有し、パン業界のサプライチェーン全体でのロス改善に結びつけることを視野に入れています。

この写真は著作権の関係で表示できません。
写真は冊子でご覧になることができます。
担当営業までお問い合わせください。

タブレット向け アプリケーション開発に注目

高志インテックでは、今年1月より、iOS、Android OSベースのスマートフォン、タブレット開発向けアプリケーション開発を本格化しています。

電子問診票システム

富山大学附属病院と共同で開発した「電子問診票システム」は、iPad上の問診票に患者が直接入力できるもので注目を集めています。これまでは患者が手書きし、事務または看護師が入力、管理してきましたが、患者がタブレットに入



痛い部分をタッチするだけでよく、高齢者にも使いやすい。

お問い合わせ先▶ 株式会社高志インテック 第一システムソリューション部 TEL: 076-432-2996 <http://www.koushi.intec.co.jp/work/index7.html>

力した情報は、そのまま医師のパソコンで検索できるようになりました。問診情報は治療判断、方針のための重要な情報であり、今後は電子カルテシステムと連携していきます。

3D電子カタログ

アルミ製造業向けには、iPadの3D Viewerをベースに、電子カタログシステムを開発し、実用化しています。タブレット上で商品モデルの材質を変更したり、回転、移動、拡大が可能です。人が実際に感じている現実に対し、現実以上の情報を提供することができるAR拡張現実技術(右図)により、パンフレットなどでは確認できなかった角度や風合いの変化を、お客さまがその場で確認できるようになりました。



横浜銀行の次期リテール顧客向けCRMシステム 地銀初のプライベートクラウド型で提供

今年1月より、インテックは横浜銀行に次期リテール顧客向けCRMシステムをプライベートクラウド型サービスで提供しています。プライベートクラウド型でCRMシステムを導入するのは国内の地方銀行で初めてです。

横浜銀行はこれまでも、インテックの「F³(エフキューブ)」CRMシステムを活用してきましたが、システム更改に合わせてインテックが提供するプライベートクラウド型サービスを利用することを決めました。これは、ハードやソフトを購入してシステムを個別に構築し、資産として保有

するのではなく、実際に利用するユーザー数に応じて月額の利用料を支払い「サービス」を利用するものです。完成済みのシステムを「サービス」として利用することで、導入・運用コストを大幅に削減することができます。

システムの機能面では、投資型商品の販売や顧客のライフステージに合わせた営業活動を支援する機能を追加しました。

インテックは今後、「パブリッククラウド型サービス」の提供も開始する予定にしています。

お問い合わせ先▶ 株式会社インテック 金融ソリューションサービス営業部 TEL: 045-451-2424 e-Mail: sbp_info@intec.co.jp

ヘルスケア分野で新サービス 健康をサポートする「スーパー・フェニックス」

インテックは5月7日より、健康診断の結果データなどと連携する健康管理のクラウドサービスを開始します。

同サービスはイー・ビー・ヘルス・ケアと共同で行うもので、同社の健康診断事業者向けサービス「フェニックスケア」をベースに、新たに特定保健指導プログラムや利用者向けのスマートフォン対応を追加し、インテックの広域仮想クラウドサービス「EINS WAVE」上で提供します。「フェニックスケア」は大手健診事業者を中心に企業や健康保健組合を通じて、全国130万人に利用されています。

新サービスの名称は「スーパー・フェニックス」。健康診断結果のお預かり(DB事業)とあわせ、保健指導支援ツールなども連携し、個人一人ひとりが生活習慣改善につなげるための健康管理サービスを提供します。

医療費削減が急務となる中、インテックは従来取り組んできた医療機関向けの各種ソリューションだけでなく、予防医学(ヘルスケア)分野においても、個人の健康増進活動を支援いたします。



お問い合わせ先▶ 株式会社インテック 社会基盤営業部 TEL: 03-5665-9962

● 個人向け健康管理ツール「健康レスキュー」

健診記録閲覧

健診の結果を、パソコン等でいつでもどこでもご覧いただくことのできる機能。グラフ表示やリスト表示で、過去からの数値の変化ぶりも一目瞭然。「要チェック項目」で異常もきっちりチェック。わかりやすく確認できます。

健康手帳

日々の自分のカラダやココロの状態を書き込み、残していくための機能。記録した内容は、表や時系列のグラフで見やすく表示でき、経過が一目でわかるので、自分の健康に気を使う習慣が自然に身につきます。

生活習慣の記録・確認

数値記録

11月20日(金)
体重: 70kg
血圧: 120/80

食事記録

11月20日(金)
朝食: 70%

記録確認

11月20日(金)
記録確認

健診結果閲覧

健診結果
11月20日(金)

さあ、健康レスキューを始めましょう!

<http://superphoenix.jp>

スカイインテック 北陸新幹線PRポスターを制作

2015年春の北陸新幹線開業に向け、富山県では様々な施策が行われています。そんな中、富山県知事政策局は昨年春に「北陸新幹線“富山県”開業PR業務」のプロポーザルを実施し、スカイインテックが競合の末に獲得しました。

スカイインテックでは、北陸新幹線開業をPRするキャッチフレーズの募集、PRキャラクターの作成、ホームページやブログの作成・運営、県内外各種イベントにおける出向PR、パンフレット・チラシ類の作成などを行ってきました。

その一つが、首都圏在住の人たちをターゲットとしたPRポスターの作成です。雨晴海岸から望む立山連峰の眺望をビジュアル化し、まるで映画のワンシーンのような場所に映画一本の時間(東京→富山2時間7分)で行けることを表現しています。

すでに、富山県の関係団体や市町村に配布され、各種イベントに活用されています。



マイテック 新工場竣工

インテックの子会社で、タッチパネルやメンブレンなどの電子部品を製造するマイテックは、生産力を増強するため新工場を建設し、4月移転しました。

新工場は富山市呉羽南部企業団地内にあり、敷地面積は約1万2,000㎡、建築面積は約4,000㎡で十分な拡張性を備えています。また、富山西インターに隣接し、太平洋側からの交通アクセスにも優れています。

マイテックが開発した、スクリーン印刷技術による静電タッチパネルや静電スイッチは、短納期、低価格、小ロット対応が可能という特長が評価され、市場に浸透してきています。新工場はクリーンルームの面積を倍増するとともに最新型印刷機を増強し、生産能力を格段に向上させました。これにより、多様化するお客さまのご要望にお応えしてまいります。



お問い合わせ先▶ 株式会社マイテック
富山市池多1831番3 TEL:076-411-9112

入社式 新しい感性とともに次の50年を切り拓こう

インテックは4月1日、新入社員58名を迎えて、富山本社ビル(タワー111)で入社式を行いました。

辞令交付に続いて社長の滝澤光樹が、「当社は2014年1月11日に創立満50年を迎える。新入社員には、興味ある分野を早く見つけ、人との絆を自ら作り、挨拶、マナーが自然にできるようになってもらいたい。デジタルネイティブ世代の感性に期待する。次の50年をともに切り拓こう」と式辞を述べました。

次に会長の盛田繁雄が、「一日も早く一人前の技術者になりたいという今の気持ち、そして両親、恩師への感謝の気持ちを忘れずに」と祝辞を述べました。

新入社員を迎え、インテックは総勢3,741名、グループ社員は6,172名となりました。



盛田繁雄会長

滝澤光樹社長より辞令交付

ヨネックスの生産拠点で MCFrameを導入し新生産管理システム稼働

4月、ヨネックスの東京工場で新しい生産管理・原価管理システムが稼働しました。ヨネックスはバドミントンラケットで世界トップシェアを有しており、東京工場はバドミントンのシャトルや各種目ストリングの生産拠点です。新システムは、東洋ビジネスエンジニアリングの「MCFrame」を採用し、インテックが導入を支援しました。「MCFrame」は生産管理部門で売上高シェアトップ*の国産基幹業務パッケージで、インテックはこれまで62社の導入実績があります。

2011年10月、ヨネックスは会計システムや販売管理システムをはじめとする基幹システムの再構築を実施し、ラケットやゴルフクラブ、スノーボードの生産拠点である新潟生産本部にも「MCFrame」を導入しています。国内生産拠点の生産管理・原価管理システムを「MCFrame」で統一し、各拠点の優れた管理手法をシステムで共有することで、今後の業務改善やTCO削減を推進していくことにしています。

※ミック経済研究所調査(2011年)

ヨネックス VS インテック 親善バドミントン大会を開催

2月、ヨネックス東京工場のバドミントンチームとインテックバドミントン部の親善バドミントン大会が開催されました。ヨネックスの米山勉社長がバドミントンを愛好され、インテック社長の滝澤光樹もインテックバドミントン部に所属していることから実現したもので、両社長を含め36名が参加しました。試合はバドミントン専用コートを持つヨネックス東京工場体育館で行われました。試合はヨネックスの勝利で終わりましたが、今後も定期的に開催したいと考えています。



レント・タイランドの会計システムを構築 東洋ビジネスエンジニアリングのERPパッケージ「A.S.I.A.」で

総合レンタルビジネスを営むレントのタイ現地法人、レント・タイランドは今年1月、東洋ビジネスエンジニアリングの海外拠点用ERPパッケージ「A.S.I.A.(エイジア)」を導入して会計システムを刷新しました。システム構築はインテック システムズ バンコクが東洋ビジネスエンジニアリングの現地法人(Toyo Business Engineering Thailand)とともに担当しました。

レント・タイランドは、バンコク東南のアマタナコン工業団地とイースタンシーボード工業団地に店舗を置き、建築や設備メンテナンス向けにレンタルサービスを提供しています。今後の店舗数拡大に対応するため、今回「A.S.I.A.GP」を採用し、レンタル管理システムと会計システムの連携を図りました。

「A.S.I.A.」は、日本企業の商習慣をベースにグローバルでの経営管理をサポートする日本発のERPパッケージ

です。多言語、多通貨、多拠点機能を持ち、会計から販売、購買、在庫など幅広い業務に対応しています。カンパニーやビジネスユニット別の業績管理にも対応し、日本本社から海外拠点の状況をリアルタイムに把握することができます。

レント・タイランドは、英語・日本語の素早い画面切り替えや日本からの状況把握などの機能面に加え、価格面でのメリット、日本語・タイ語・英語の3カ国語でサポートを受けられることなどを評価して採用しました。また、プライベートクラウド型のシステムとして構築し、システムやサーバの運用はアウトソースしています。

インテックは東洋ビジネスエンジニアリングの「MCFrame」および「A.S.I.A.」のビジネスパートナーとして国内外で多くの導入実績があります。両社は、今後も日系企業の海外展開を支援していきます。

MCFrame および A.S.I.A. のサービスに関するお問い合わせ先▶ 株式会社インテック I-MCF事業推進部 TEL:03-5665-9917 e-mail:mcf_info@intec.co.jp